

◇◆◇令和元年度学校評価 アンケート結果について ◇◆◇

学校評価アンケートの実施に際しまして、大変多くのご回答をいただき、心より感謝申し上げます。  
あわせて皆様からいただいた貴重なご意見・ご感想をこれからの教育活動に生かせるよう、保護者、地域の皆様、子ども達と共に努力していきたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。  
下線は、子どもへのアンケートの項目内容です。ないものは、保護者の方とほぼ同じです。

質問項目	考 察
<p>1. (開かれた学校づくり) 学校の教育方針や子どもたちの様子が伝わっているか。 <u>学校での出来事について家の人と話をしていますか。</u></p>	<p>85%の子どもたちが A・B と答えています。多くの子どもたちが、学校での出来事について家の人と話していることをとても嬉しく思います。保護者の方々の A・B の割合も高くなっています。学校だよりや HP、様々な行事等を通じ、私たちの思いをくみ取り、教育活動をご理解いただいていること、感謝いたします。子どもたちの13%の子が、家の人と学校の出来事についてあまり話せていないようです。ご家庭でも話を聞く時間を確保していただき、お互いの思いを伝え合える環境作りに努力していきたいと考えています。</p>
<p>2. (開かれた学校づくり) 学校、保護者、地域の方々、子どもたちが、協力し合いながら学校づくり(教育活動)を行っていると思いますか。</p>	<p>子ども・保護者の方とも A・B 合わせると、90%以上です。低学年の読み聞かせ、様々な学習、教科で地域の方々、保護者ボランティアの方のお世話になりました。感謝申し上げます。今後とも本校の教育活動へのご協力をお願いいたします。</p>
<p>3. (確かな学力の育成) 分かりやすい授業が行われていると思いますか。 <u>授業の内容は、よくわかりますか？</u></p>	<p>子ども・保護者ともに A・B の割合が 95%となっていますが、A の割合において保護者と子どもたちの間で最も差があった項目となりました。 今年度も教員同士で授業を見合ったり、その授業に関しての協議をもったりする機会を増やし、授業力向上に取り組みました。校内研究では、「やった できた またやりたい」をテーマに算数の研究を昨年度から続けています。来年度も子どもたちが学びを実感できる授業づくりを目指していきたいと思います。</p>
<p>4. (確かな学力の育成) いろいろな方法で考えようとしたり問題を解こうとしたりする力や話を聞こうとしたり分かりやすく話そうとしたりする力が育ってきていると思いますか。</p>	<p>子ども・保護者ともに C の割合が高い項目となっています。ここ数年、この項目については、同じような結果が続いています。 思考力・判断力・表現力等は新指導要領の中でも重視されているところであり、力を入れていきたい項目です。様々な教育活動や家庭教育の中で育つ力です。子どもたちが自信をもてるよう指導を工夫すると共に、保護者の皆様と一緒に見守っていきたいと考えています。</p>
<p>5. (子どもと共に築く学校) お子さんには、主体的に行動する力が育ってきていると思いますか。 <u>係活動、実行委員活動、委員会活動などで、進んで行動していますか。</u></p>	<p>子どもたちは、A が多く、A・B の割合が 90%以上となっていますが、保護者の方は、A が少なく、子どもたちより低い評価となっています。行事や学校生活の各場面で、力がもっと出せるように、1人ひとりを大切にしていきたいと思います。自分から挑戦する過程においての小さな成長にも目を向け、見守っていきます。ご家庭でも、これまでと同様、声かけを続けていただくとありがたいです。</p>

<p>6. (豊かな心の育成)  お子さんには、自分や相手を大切に思う心が育っていると思いますか。  <u>自分や相手のことを大切に思い、なかよく助け合おうとしていますか。</u></p>	<p>子ども・保護者ともA・Bの割合が90%以上と高い評価となっています。今後も道徳や共生*共育プログラムをはじめ、様々な場面で子どもたちの心を育てる教育活動を大切にしていきたいと思います。  これから、学校全体で子ども達を見守り、情報を共有しながら一人ひとりを大切に育てていこうと努力しています。日々の声かけや挨拶など、保護者の方々にもご協力いただきながら一緒に育てていきたいと考えています。</p>
<p>7. (健やかな心身の育成)  お子さんには、運動を楽しもうという気持ちが育っていると思いますか。  <u>体育の授業、休み時間などをおして、進んで体を動かすことができますか。</u></p>	<p>子ども、保護者ともにA・Bの評価が高くなっています。体育の授業を中心として、引き続き体力作りのために活動が続けていきたいと考えています。  子どもたちのなかにC・Dの割合が14%あります。どの子にも運動の得意・不得意、遊びの嗜好はありますが、体を動かすことを楽しめる子に育ってほしいと願っています。</p>
<p>8. (安全・安心な学校づくり)  おさんは、災害時の過ごし方や交通ルールについて理解していると思いますか。</p>	<p>子ども・保護者の方ともA・Bの割合が非常に高くなっています。しかし、登下校の際の危険な行動が多数報告されているのが現状です。今後も交通安全教室の実施や防犯、災害時に関する学習を行っていきます。  今年度も多くの方に登下校を見守っていただきました。校外委員さんをはじめとする校外パトロールの皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。繰り返し、ご家庭でも災害時の過ごし方、交通ルールについてお話ししたいと思っています。</p>
<p>9. (すべての重点項目を通して)  おさんは、学校生活を楽しんでいると思いますか。</p>	<p>子ども・保護者ともにA・Bの割合が90%を越え、多くの子どもたちが「学校は楽しい」と感じていることがわかり、うれしく思います。  一方で子ども達のC・Dの割合が9%あることも真摯に受け止めていきたいと思っています。C・Dと回答している理由や実態の把握に努め、個々に対応していきます。子どもたちの心に寄り添い、どの子も安心して過ごせる学校であるように、学校が楽しいと実感できるように努めていきたいと思っています。</p>

令和元年度 学校評価（新指導要領実施に向けて）アンケート結果（児童）

●あなたは、どんな自分になりたいですか？（いくつでも）

項目	1年	割合	2年	割合	3年	割合	4年	割合	5年	割合	6年	割合	全校	割合
楽しみながら学習する自分	115	92.7%	99	86.1%	75	75.8%	79	58.5%	77	65.3%	80	70.2%	525	74%
自らの良さを見つけ、伸ばしていく自分	100	80.6%	86	74.8%	52	52.5%	69	51.1%	59	50.0%	61	53.5%	427	61%
自ら学び、考えていく自分	108	87.1%	89	77.4%	59	59.6%	77	57.0%	64	54.2%	65	57.0%	462	66%
あきらめずに立ち向かう自分	108	87.1%	98	85.2%	71	71.7%	91	67.4%	90	76.3%	77	67.5%	535	76%
好きなことや夢に向かってがんばる自分	115	92.7%	98	85.2%	81	81.8%	100	74.1%	96	81.4%	87	76.3%	577	82%
人の気持ちがわかり、やさしく接することのできる自分	113	91.1%	99	86.1%	79	79.8%	92	68.1%	87	73.7%	80	70.2%	550	78%
大勢の仲間に囲まれた自分	72	58.1%	85	73.9%	43	43.4%	56	41.5%	52	44.1%	52	45.6%	360	51%
健康で元気な自分	113	91.1%	106	92.2%	75	75.8%	106	78.5%	92	78.0%	78	68.4%	570	81%
その他	12		1		10		6		26		10		65	

（こんな意見もありました）

（1年）

けんかしない自分・字がきれいな自分・人と人とで助け合う自分・家へ帰ったら宿題する自分  
 気持ちがよい自分・注意する自分・頭がいい自分・世界一サッカーがうまい自分・色々頑張りたい自分  
 ご飯を速く食べる自分・速く走る自分・勉強がわかる自分・みんなのために頑張る自分  
 優しく丈夫な男・元気で強い自分・優しい自分・やることをわかっていてよく動く自分  
 たくさん習い事をする自分

（2年）

がんばりやさんの自分・みんなの役に立つ自分・人の悩みを解決してあげる自分  
 なんでもチャレンジする自分・素直な自分・たくさん将来の夢がある自分・正確さがある自分  
 他の人の気持ちを考えて行動する自分・とてもしあわせな自分

（4年）

大勢を引っ張ることができる自分・人の役に立つ自分・おこらない自分・みんなに笑顔で対応する自分  
 いじめられない自分・友達と多くかかわり合える自分

（5年）

みんなを説得できる自分・みんなとほどよい関係をつくれる自分・自ら話しかけ盛り上げられる自分  
 どんな人とも仲良くなれる自分・人に自分の意見を流されない自分・ゲームができる自分・努力できる自分  
 信頼される自分・他人のことをつねに考える自分・人に迷惑をかけない自分

（6年）

応援される自分・判断できる自分・自分より下の学年の子ともと遊べる自分・いつも前向きな自分  
 困っている人を助ける自分・笑顔になれる自分

●あなたは、将来どんな仕事をしたいですか？（4～6年のみ回答）

項目	4年	割合	5年	割合	6年	割合	全体	割合
1 つくる仕事	19	15%	20	17%	19	18%	58	17%
2 考える仕事	15	12%	17	15%	21	20%	53	15%
3 自分らしさを生かす仕事	46	37%	35	30%	34	33%	115	33%
4 協調性とサポートを生かす仕事	17	14%	21	18%	8	8%	46	13%
5 目標に向かって行動する仕事	9	7%	2	2%	6	6%	17	5%
6 ねばり強く取り組む仕事	4	3%	6	5%	5	5%	15	4%
7 その他	15	12%	14	12%	11	11%	40	12%

(そのほかに書かれていた内容)

(4年)

助産師・一つではなくいくつかの仕事を副業したい・プロ棋士・子文の職員  
パラスポーツ選手の義手や義足を作る人・ポケモンセンターの店員・プロカードゲーマー  
キャビンアテンダント・発明家・サッカー選手・動物とかかわる仕事・漁師・動画配信・獣医師

(5年)

自衛隊・塾講師・プロデューサー・ユーチューバー・指導者・ファッションモデル・人を引っ張る仕事  
考えを生かす仕事・客を喜ばせる仕事・グランドスタッフ・安全をまもる仕事  
・たくさんあって決まりません・まだ決まってない

(6年)

鉄道の運転士・タレント・国連スタッフ・設計士・深海生物学者・Youtuber・イベント企画

●お子様の将来を考え、今からどのような資質・能力を身につけさせたいとお考えですか。

項 目	人
1. 学びを人生や社会に生かそうとする力	78
2. コミュニケーション能力	121
3. 創造的・論理的思考	51
4. 自分なりの学びを創造する力	38
5. 学習で得た知識・技能を生活の中で生かしていく力	21
6. その他	7
合計	316

（その他で書かれていた内容）

- ・状況を判断して自分がすべきことを考える力
- ・自立（自主性）と共存
- ・失敗を恐れない心
- ・チャレンジ精神
- ・自律心
- ・自分で考え判断し行動できる力
- ・思いやり
- ・人の痛みのわかる人

●子どもたちが作っていく未来はどのように変わってほしいとお考えですか。

共生・共育（認め合う）

- ・学力だけでなく、困難を切り抜けて、人と共存していく為の「生きる力」を身に付けていく
- ・多様な背景、考え方を持つ人々が互いに尊重することが出来る社会になってほしい。
- ・互いに思いやれる社会になってほしい。
- ・何か問題に向き合わなければならないとき、お互い助け合って行動ができる社会
- ・仲間同士、切磋琢磨しながら、優しく手を差し伸べてあげられる人が多くなるような未来がいい。
- ・人と人の温かいコミュニケーションで社会が回ってほしい。（AI 先行ではなく。）
- ・違いがあるもの同士、互いを尊重できる社会。
- ・個性を尊重しつつ、他も認められる社会
- ・みんな違ってみんないいと思える社会
- ・一人ひとりが尊重される。
- ・様々な文化や価値観が共存できる社会を作ってほしいです。
- ・人も自分も、もっともっと大切に。自他共に尊重し合えるような未来が希望です。
- ・自分にも周りの人にも優しくでき、丁寧に大切に扱われる
- ・他人と自分が違っていても尊重し合える
- ・寛容で多様な人が活躍する社会
- ・社会の問題に共に解決できるよう力を発揮する場が増えてほしい
- ・弱者他者への共感・思いやりのある未来
- ・自分のことだけでなく、みんなで生活していくから楽しいと思えるような未来。
- ・人と人とのつながりや思いやりをもって何事も行える未来になってほしいです。
- ・人とのかわわりを大切にしてほしい、人にやさしい社会
- ・科学技術が進歩し人々の価値観や社会の仕組みが大きく変わっていくと思うが、自分の幸せと同様に他の人の幸せも願える明るい未来。
- ・世代や教育、経済力の違いによる格差分断がささやかれている昨今、自分と異なる背景、考えや文化をもつ人を避けたり排除したりするのではなく当たり前で共生する未来を築いてほしいです。
- ・自らの行動に責任を持ち、相手を思いやるコミュニケーション能力をはぐくみ個性を尊重しあい、互いの力を社会のために役立てて行ってほしいです。
- ・他者を思いやり、自分を大切に、学んだことを社会に役立てられると実感できる未来であってほしいです。

- ・多様性を認め合い、チャレンジする気持ちを大切に未来人と人とのつながりをしっかりと築ける社会
- ・安全で人とのかかわりがある未来
- ・1つの価値観で他人を評価したり優劣をつけたりせず各々の個性や長所、能力を認め合える社会。そしてその個性の力を合わせて大きなことを成し遂げることができる社会
- ・IT技術の進化が人を傷つけるのではなく、人を助け、人とのコミュニケーションを第一に考えられる社会
- ・個性を認め合い、支えあうことが当たり前に見える社会

### 個性を伸ばす

- ・個性がいきいきと生かせれ、認められる。
- ・あえて1から物を作り上げていくとか自分で考えて創造する力を身につけてほしい
- ・自分の考え方で働き方を変えていく社会
- ・社会という大きな規制の中においても窮屈さを感じることなく個々の能力が活かされのびのび生きられること
- ・自分の意志でよりよい未来を築こうとする。
- ・順位を競って得るのではなく、努力や個性を評価してもらうことによって得るものがある社会。
- ・自主的主体的に行動できる未来
- ・子どもたちそれぞれが思い描く夢や理想に少しでも近づけるようになってほしい。
- ・自分の得意なこと楽しいと感じられる進路を選択し仕事を得て活躍できる
- ・望んだ能力を伸ばし多様性が理解される
- ・画一的ではなく様々な個性を尊重しあえる
- ・学歴社会ではなく個々の発想が活かされる未来
- ・誰もが希望を自分の力を発揮でき希望が持てる未来
- ・それぞれの能力や個性を生かした仕事に就くことができる社会。
- ・個性が活かされる世の中になってほしい。互いに認め合い正当な価値を認められて安心できる社会
- ・努力がむくわれる世界、頑張ればそれなりの結果を得られる世の中になってほしいです。
- ・個々を尊重しつつ、団結して成長する社会
- ・一人ひとりの個性が尊重される社会

### 平等

- ・貧富の差に関係なく、受けたい教育を受けられる社会になってほしい。
- ・性別、国籍、人種等の属性に関わらず個人の能力が発揮できる。
- ・弱者への思いやりとゆとりのある生活が送れる
- ・与えられたものをこなすだけでなく、自ら興味をもち、判断しながら取り組むことの楽しみを知ってもらいたい。今よりも多様化していくであろう活躍の場が公平に選択できる未来であってほしい。
- ・信頼することができ、平等で安心して過ごせる未来
- ・自然との共存、安心、安全、人間らしい心の通った社会

### 安心・安全

- ・老後も安定した生活が送れるような社会。
- ・子供を産んでからでも安心して働けるような子供の預け先が十分にできてほしい。
- ・争いや犯罪の無い平和な世界
- ・平和、安全、安心
- ・いじめのない開かれた学校
- ・会社や個人の利益よりも争いのない世界
- ・安全でサステイナブルな社会
- ・一般的論理・思考力を身に付ければ安心して豊かに暮らせる社会

- ・心に余裕のできる便利なツールが誰でも使え、心の病がなくなる社会。
- ・争いがなく安心して生活ができる社会。
- ・誰にも職があり、一生食うに困らない未来。ブラック企業で働かなくてもよい社会
- ・平和と安全。自分の意見を言えることも大切ですが、他人の気持ちを受け止め思いやる集団生活ができたらと…。

### その他

- ・学歴だけでなく、人間力が評価される社会へ。
- ・目先の利益のみを求めるような、自分さえよければいいという社会ではなく、広く皆が精神的な豊かさを享受できたり、環境の良さを実感できたりするような社会。
- ・寛容な世の中になってほしい。
- ・将来に希望が持てるように。
- ・一人ひとりの努力が報われる世の中になってもらいたい
- ・スマホや動画が悪いとは言いませんが、コミュニケーション能力、人への優しさは思いやりが欠けていると思います。人なしでは生きていけない。人は大切ということをもっと学ぶ未来になってほしい。
- ・貧困層の底上げ
- ・家族がゆっくり過ごす時間が持てる
- ・環境問題が良い方向に変わって行ってほしい
- ・AI と共存できる未来
- ・生きていることが楽しいと思える社会
- ・生命の生きる地球環境が存続できるように考えることができるようになるべき

●「社会に開かれた教育課程」実践に向けて、家庭や地域の学校教育への参画や協働が必要とされていますが、保護者としてどのように学校教育に携われるか、アイデアがございましたらお教えてください。

### 学習（教科内）

- ・定期漢字テスト
- ・授業の準備や安全管理のボランティア
- ・クラブ活動での補助

### 学習（教科外）

- ・本を読む習慣を身に付けさせるためのお手伝い
- ・子どもが学びたいと思ったことに対してのフォロー
- ・夜空を一緒に見て星座を見つけて名前の由来をタブレットで調べる
- ・夏休みのプールの開放
- ・縄跳び 10 分マラソン等体力向上のお手伝い
- ・保護者など色々な職業に携わっている人の話を聞く体験があればいい
- ・料理教室
- ・保護者の専門分野での講演
- ・茶華道

### 生活・その他

- ・保護者が仕事を子供に語る時間がほしい。
- ・保護者が学校に任せきりにしないようにする。
- ・学びが社会とどうつながるのか考えさせる時間があってもいい。
- ・保護者の教育参加は、休みが取れるよう企業としてもシステムがあってもいい。
- ・今のところ、宿題を一緒にすることしかできていませんが、2年生は私も一緒に勉強して、同志でありたい

と思います。

- ・学校に行く機会をふやす。
- ・年配の方とのふれあいを増やす。
- ・より携わりたい保護者向けにスクールボランティアに登録等してもらい、必要な時に来てもらう。
- ・家庭や地域が関わる回数でなく中身を見極めて質を高める方向で議論が進んでほしい。
- ・子供が卒業してからも学校に携われるしくみがあればいい。
- ・「協働」というからには、バイト代が出るのであれば、いろいろと自分の能力を貸してくださる保護者が出てくると思う。企画にも賃金がもらえるものなら、素晴らしいものを提案してくれると思う。
- ・たくさん工夫してくださっていると思うが、働かれている方は参加が難しく、自分の子供の様子の把握は難しいと思う。基本は家庭での親子のつながりをしっかりもち何かあったときに子供が親に話してもらえる環境づくりが大切だと思う。家庭の取組が大切だと思う。
- ・キャリア教育の一環として、そのような職業があるのか。どんな勉強が必要なのか。学びの場の延長線にあることを見聞きするチャンスがあってもよいと思います。
- ・自分の余裕がある時間に柔軟に参画できるような状況であれば活動の幅が広がると思います。
- ・特別支援コーディネーター等の講座を受けてきたことを生かしたかわり
- ・大人とめいっぱい遊ぶ時間